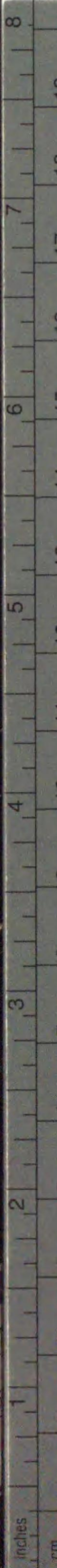


聽訟准軌

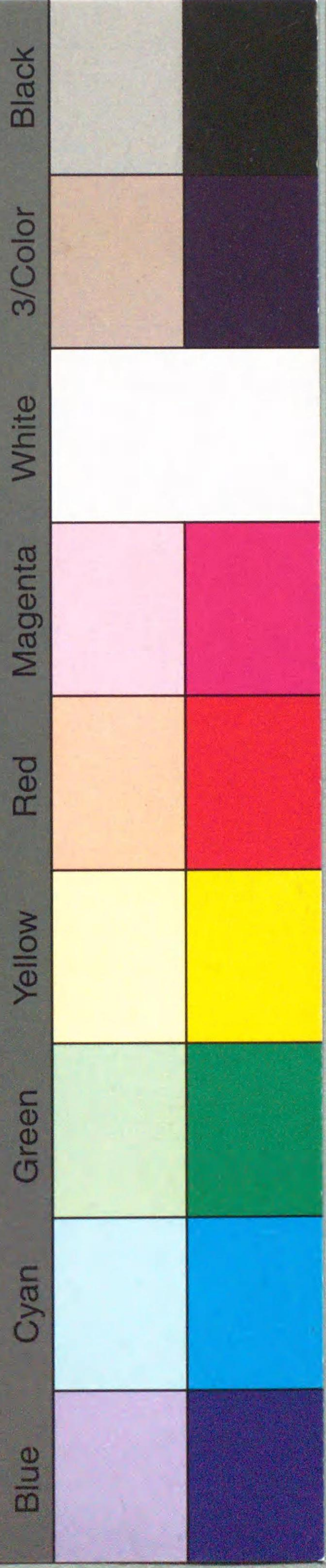
一號



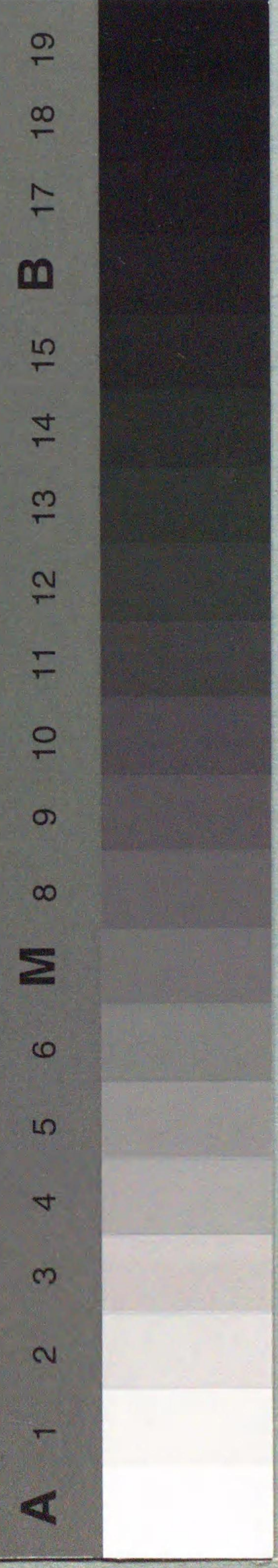
73
C5
WH
明法



Kodak Color Control Patches



Kodak Gray Scale





聽訟准範

題言

一此書所編集ハ経裁決議諸件諸伺持令
 等ニテ世ニ公告セズ特ニ聽訟官吏ノ准フベキ
 ナルヲ以テ准範ト名ク
 一此書率子隨見隨録ナルヲ以テ一編ノ書トナシ得
 ス故ニ一ニノ号ニ附シ以テ冊ヲ分ツ
 一諸伺ノ如キ甲所乙所ト其意同ニテ其文異ナルアリ
 或ハ既ニ指令アリシヲ他縣又伺ヲ出スアリ如此其精
 ナルヲ取リテ粗ヲ省ク故ニ本文片側ニ某縣伺之内ト

題書スルアリ簡ニシテ要アルヲ欲スルハナリ
一編中正則アリ假則アリ其正則ノ如キモ亦時ニ改メ
ルヲ得ス是日新ノ所不得己乎故ニ旨指令ノ新決議
ニ及スル如キアリテ鶏助ヲ免レサレモ亦沿革ヲ知ル定テ
温知之一道ナラニ乎故ニ削除セス

一標目ヲ挙クルハ看者ノ檢索ヲ便スル也
一標目ハ本文ノ主意ヲ掲クニ妄ニ作為ヲ加ヘス
一本編隨録ナルヲ以テ謬誤キヲ免レス看官是平クシ

明治六年 第四月

Table with multiple columns and rows, containing faint text and a blue border. The text is mostly illegible due to fading.

聽訟准範第一号

目錄

一僧侶神官取扱伺

一藩勝手賄金称三領地郷印證文儀存問合

一商人出店他管下へ差跨候元身代限裁許
問合

一武家貸金ノ儀ニ付問合

一貸金銀利足制限無之御布告前之利足制外

ノ分取捌方伺

一貸金證文置居割印伺

一馬喰町小吉半兵衛欠落後書入品ニ重ニ存右

処置伺

一貸金銀出入中相手失踪ノ取討伺

一無印證貸金銀裁許ノ儀存伺

一府縣廳へ關涉ノ訴訟取斗方布達ノ儀三件伺

一武藏國荒井村相牛荒井新田不法出入境界争之

地論三件伺

一越訴取扱規則ノ儀伺

一聽訟事務取扱方向伺

一論地檢査人員高ノ議伺

一論地裁判ニ付出張官員ノ儀三件大藏省へ往答

一檜物町三田正七ヨリ元安中縣士族山田半兵衛外

三人へ掛リ候或金出入訴狀紛失ノ儀三件伺

一買販訴無證書ノ儀三件伺

一准範規程第廿條訴卷者亡故云々之儀三件伺

一預ケ金取戻ニ出訴處置伺

一大坂府管下加葛屋忠助呼出之儀三件伺合

一金銀貸借訴訟之儀三件伺

一買販之訴訟證印無之簿帳ヲ以願出候節之伺

一身代限存父子之財産區別可致之伺

一借金身限拂才並他管下之者糾彈心得才伺

一家宅並田畑引當之證文ヲ以テ金銀貸借ニ憑之

節並証人ノ奸計有之節所置致才伺

一奏任並從者家長取扱才交議

一吟咏筋_二而遠路_三罷越候旅費之儀_三年即今

可致大和屋_三右衛門外_二人之儀_二伺

一賣員掛出入證據物規則之儀_三年同合

一僧侶之儀_三年經裁

一勅奏官及華族從者之儀_三年經裁

一平民任官之者家族扱之儀_三年經裁

一自安糾之部正副檢印之事

從五位以上之神主如何扱_三取扱_三而可然_三也

一附

神主等之位階八諸官人之位階自相違有之

二

三

四

候_二無位之神主称_三宜乎_二如何心得候而可然_三也

僧_二多火僧正_三以下法橋_三迄順次_三孰之官

位相當_三候_二や平僧_二如何心得候而可然_三也

古_二追_二之伺置候得共_三于今_二市指圖_三無之_三乘_三春_三年

禮_二于始_三品_二之心得_三方_三有之_三候間_三至_三急_三市指圖_三有_三之_三候

扱仕度尚相伺申候_二也

十二月廿二日

東京府

弁官市申

一 諸官人同様取扱事

二 諸人同様取扱之事

法原位 大僧正 僧位准正 正四位

權僧正 從四位

大僧都 正五位

權大僧都 從五位

小僧都 從六位

三 法眼位 諸人同様取扱之事

四 町人ヨリ藩勝手賄金等其領分郷印證

庚午五月日同公同三月七日

文取之貸候モ、此程御布告有之候日暮

府旗下勝手賄置或ハ武器午當杯上称云々

云々ハ不集候上存候ハ、中ニ藩モ御布告

ノ指ニ准候様心得候、有之候ニ存一雇心御間

合申候也

正月 東京府

民部省

市中

書面藩勝手賄金等御印證文ヲ

以貸渡候分ハ日暮旗下賄金等御

布告六雜引當候扱此段及換扱候也

三月

商人出店西京大坂府又各藩縣支配所差
踏有之候類諸借財出入清方三件身代限
裁并ノ淺辭云西京ノ商人各前三ノ當田府下
二出店有之候分右出店而己身代限清方
申午候而ノ身代限之主意不相當儀上左候
右辭ノ類ノ支配人出店候者ノ本在工打
込身代限清方淺觸候儀ハ有之間敷哉

此段御問合申入候也

三月二日

東京府

民部省

追テ正月末別紙ノ通御問合申置候処御
及迄々ノ取急之候事件存御答侍候也
書面之趣ハ見込ノ通可然尤官權外ノ
追テ五月規則確定迄當省
於テ取扱可申候事

武家ノ御分三ノ金子貸出候儀前ノ有之間敷

聞敷載此段御問合申入候也

三月三日

東京府

民部省

追而正月未別紙ノ通御問合申置候御返答
無之取急候事存存御答待候也

附札

書面ノ起見込ノ通言可此ノ管轄外ノ

善跡候合追テ規則定確迄當省

於テ取扱可申候事

庚午四月十日 挨拶

武家ノ此合ニテ金子代其出候儀前々有之

聞敷筋儀処查辰年二月中別紙ノ通解圍

有之候儀迄ニテ未々度耀上規則モウウ候処

右觸ノ通基キ武家ニ未等ヨリ百姓町人ノ貸貴

候金子相滞候旨願出候節ハ如何所置可致

且旧由良ニ似テ難立願ノ旨申諭不取上方可然ト

存候得共為念此段御問合申候也

三月十日

東京府

民部省

武家金子貸附方修理公平ニ聞時ハ

旧幕存辰年二月布告之通端候御ハ

願出候ハ裁判可致事

辛未三月十日

貸金銀利足人義二年當正月中以迄ノ款有之
二年六月ヲ経候貸金銀高利ニ候得共御規
則ニ不度分ハ折出候ハ取上裁判致可然ヤ去
明治元年戊辰三月日政府ヨリ別紳ノ通事當
候次第有之存其後ノ分ハ終ノ儀下被考
候得共其以前ノ分取捨如何取計可申哉此
段相伺申候也

辛未三月十日

東京府

弁官 申中

附丸

書面貸金利息ノ儀當正月以前ノ貸借

ニ候共同月中御市告ノ趣意ニ不度分取

上裁判可致事

知事

大老多事

權大老事

轉寫局

貸金ノ内古證文置店ノ分再願ノ節打混候間
以來右證文ニ當局申切判下度候様仕度難
形相依此段相伺申候

辛未五月二日

借申金子事

一金何拾兩也

但通用金

右何々

一為後日證文仍如件

借主

年号干五月日

名

割

書面高元利何兩清何兩不足請附人

改金何拾兩置居

名

年号干五月日

日

名

名

幸未九月

東京小舟町下月青木惣兵衛馬喰町三
下月山本十兵衛比町類三仕代兼同人母サツ堀
富町下目小林吟次郎江州住宅在出店主甲
徳兵衛等三又ヨリ銘島喰早三下目本吉平兵衛

一相係り家藏引當貸金出入訖出候存取
候処右の數口金子書の致居吟味中羊兵衛事
當三月欠落致其後六月相満候一七立帰不
申候二件右家藏賣込代金ヲ以最初代貸度候
ハ皆消致殘金有之候ハ事一番目家藏引
當ノ者ノ相渡其餘金無之候ハ事三番目
ノ者ハ其旨相違且又羊兵衛欠落後出所致
候者有之候ハ家藏引當ノ年月日右三ノ
者共ヨリ先立居候上之此介ハ羊兵衛欠落後
三ノ訖答突合吟味不相成儀ニ存不取上方至當ニ

可之哉右之外羊兵衛居所地代帶ノ方有之候
存地主ハ家藏代金ノ内ヲ以テ引取度旨申立候
得共羊兵衛欠落前ニ出所不致候故突合吟
味難相成ニ存是又取上ケ不申候テ可然ハ右夫
所置振相伺申候也

東京府出張

辛未九月廿八日

司法所

本省御中

附記
羊兵衛欠落ノ年月ノ後存出候存取一切
不可上家藏代金ノ内ニ以テ引取度旨申立候

或曰是錢の金と云ふは其の力之は倍金
以下の倍と云ふは其の平均之を言ふ

輔

判事

貸金銀折込ノ類相半方致欠落候節

一取捌方左ノ通リ相伺申候

一貸金銀折込ノ類吟味中又ハ吟味以前相半方欠
落致三第定例ノ通リ其者件_所衛日限尋其
筋ノ者ハ申付満限不尋出節ハ此上吟味ノ不及

沙汰段裁并申ノ申末候趣ニ候得共右ニハ相半
方死失上七_七誤違七條理ニ於テ不都合上被存候間
右体ノ類以來ハ相半方行衛見當次第尚可願
出旨申渡訴訟状下ケ遺候積取極申渡事
一前書相半方欠落致三候節行衛日限尋其
筋ノ者ハ申付満限不尋出節_所其者ハ各申付末
候趣ニ候得共是又不相當ノ様ニ相違候間右体
ノ類業ハ各不申付欠落人永尋而已申付候積
取極申渡事
右ノ件々早々御評決有之度事

辛未十月

申渡案

某縣支配所

何国何郡何柵宿

何

何之誰

其方ヨリ何国何郡何柵宿何之誰ハ相掛出入ハ吟味
中同人欠落致存追テ行衛見當次第尚可願出
但折扶ハ下ケ貴下

某縣支配所

何国何郡何柵右

何

何之誰

其方儀柵宿内何之誰吟味中所 同人欠落致
二年衛日限尋申中置候所度三日迄ノ上不尋
出段折出存此上永尋申中凡

差添人

右之通申渡候間其旨存ハシ

右申渡候趣一同登文申中凡

干支月日

靖澄文案

差添申一札人事

一維儀何國何^村宿何^村維^村相懸^村候何出入街
吟味^村所^村日人^村久^村落致^村候^村追^村行衛
見當^村次^村才^村猶^村可^村奉^村願^村昔^村被^村任^村度^村也

但訴狀^村御^村下^村度^村被^村成^村下^村也

一維儀^村宿^村何^村維^村御^村吟^村味^村中^村久^村落^村致^村候^村尋^村
日人行衛日限尋被^村任^村置^村侵^村所^村度^村日延^村上^村不
尋^村出^村段^村御^村訴^村申^村上^村候^村永^村尋^村被^村任^村度^村

右被^村停^村區^村人^村趣^村一^村日^村承^村知^村奉^村長^村候^村仍^村于^村御^村靖
澄^村文^村差^村上^村申^村所^村如^村件^村

某^村齋^村支配^村所^村

何^村國^村何^村郡^村何^村村^村宿^村

何^村

何^村一^村維^村不^村

干支月日

差添人

右^村村^村宿^村

何^村之^村維^村不^村

某縣支配所

何国何郡何州宿

何

何人誰予

差添人

右州宿

何人誰予

司法

御中

右解部局卜有向未後

享業十月十日抄合

無予證人貸金銀裁許ノ後

同書

去六月中諸商人買取ノ品代金帶有之願
出候向無事證ノ分ハ無證批ノ貸金銀同換一切
取揚裁許不申付去是所連所坐候処右御連
ヲ期上其以前ノ介拾ヶ年以内ハ双方記裁此面或
自筆ノ書状又口入證人等有之事實判然然ノ向
ハ無予證ト云モ裁許申付不苦儀ニ所坐候裁

此段奉伺候也

辛未十月廿

高田縣

司法省

市中

附札

事更判然允分伺之通市裁許可也

事

伊田

伊田

伊田

右檢系濟存字未十月十日庶務中島島川村
附札 貸金壹枚三丁白今無隆扱者取却十キニ

備

決へ三自字ノ多状又ハ口入り人等有ノ介ハ

難儀出入ニテ訴ル所ハ取却吟味イタニテ

之可然哉ニ相見込也

此件難所抑又也 (武久) (平山)

辛未十月十日 市中

市布告之便存伺

御市告之儀旨向

他府縣廳関涉之折込ハ折人本官廳之
 添管ヲ以テ所省ハ可申出告當九月中所布告有
 之右ハ先般所頒布相成候準判規程牙三系治
 下ノ民他官内ノ者ト紛議ヲ生シ其裁判ヲ請
 者ハ云々ノ条々所取消相成以來府縣官轄文
 涉ノ折込ハ都テ折人ニ添翰致シ所省ハ差出候
 儀ニ候哉亦ハ治下ノ民他府縣廳ノ裁判非
 違テ不承ノ事ヲ以テ其廳ヲ答者ニ擬ニ并出方如
 キ者ノ謂ニ候哉此段伺出候上

辛未十二月廿

浦和

司法省 中

附錄

先般布告ノ後ハ府縣ヲ由テ各々新設

ノ人氏互ニ之ヲ知ラセヨ

辛未十月十日 府令

本縣國荒井村あり以國荒井新田

ニ法出ル所出テ存引テ佐倉新田

内國國ノ保田新田ニシテ小ノ年々

再立ルル味ニ交地ニテ家新決部

西ノ左ノ

富野上記書

新設ノ 茂野國足三郡

荒井村

横足郡

赤子 荒井新田

佐倉新田

同郡

保田新田

右ノ先立年有月日新出テ存引

念ノ心ニ呼出及味ニ知新設ノ

去荒井川村及高場、内、五、七、八、九、等、
荒井川、西、飛、地、有、一、其、余、同、村、及、場、向、
右、及、高、場、續、上、流、形、荷、積、場、有、一、
面、の、七、八、荒、井、川、向、境、存、那、并、村、境、杭、木、
打、合、度、方、有、新、田、名、年、物、為、一、再、應、心、乃、
裁、合、其、為、其、境、思、子、明、の、裁、と、云、字、附、致、増、
明、ふ、く、然、六、八、の、横、見、郡、附、名、所、積、場、
閑、荒、畝、の、致、と、云、の、あり、一、裁、和、の、云、
畝、の、早、米、の、越、見、扇、と、云、又、有、之、畝、の、の、
堀、立、堀、と、云、細、有、尋、於、其、也、其、也、の、と、其、也、
其、也、

堀立の由、一、其、剩、一、五、の、場、面、の、子、村、境、二、有、
一、後、長、道、有、清、と、云、此、也、向、東、東、の、也、
是、任、知、く、有、及、一、の、場、を、押、横、の、也、
一、新、業、跡、之、長、形、を、云、其、形、の、難、據、其、其、
一、目、と、云、和、合、之、有、及、一、の、場、一、儀、と、云、
覺、と、云、一、其、場、致、と、云、其、荒、井、川、田、也、
堀、立、と、云、遠、と、云、一、と、云、一、其、所、存、一、
有、及、一、の、場、飛、地、一、儀、ハ、近、多、難、と、云、
其、の、繩、字、有、一、と、云、其、の、據、也、此、荒、井、川、
向、と、云、七、畝、田、の、題、也、其、也、有、一、且、又、遠、

保三十二年丹波村外今村建市為郡
 磯定其年麻務國而多為九地務之
 可建地有之其見措地續之其并
 村之於之連也其未段ハ奈耀ホ
 辰出也及之端之儀年所ホ云云
 進之持之其動之申時之其并
 久保田村田忠ハ村地之其并
 附之國也其田進也地之其連
 一之其并其年其前其書
 忠ハ永乃平

質地亦諸品買受證方其及
 可

伺

一田地質地流地或八年限之
 出乃其候其及極之係送其
 限有者其年限明分因是
 手限之其證方其十年其

流地之取捌後て心多美學也

一季多藉器裁其外之見新買字澄久之商這
之望之向美之そえ多そ右そ左そ總方
数十年あり去給澄久を以て買戻し一儀其
乃後出りて交買そそ多し一季

辛未十月十日 一書通和字

司法省中

答 辛未十月九日

初ノ多留地今年季の三月迄は出上
クアト多し一廉と流地今年季の四月迄

在流地ノ流地あり永く支配の
し文書多し何れも何れも
アト且流地ノ流地ノ文書
季の今十年の内許出あり一
何れも何れも何れも何れも
澄久ノ流地ノ流地ノ文書
澄久ノ流地ノ流地ノ文書

辛未十月

辛未十月 地所を規則

と云ふ事裁り有るに次年可下立有る事大
属の事裁り之御裁り之田正七の御状終る
始末有るに今之通の事裁り終る事裁り
御裁り有る

辛未十二月八日

何の御裁り有る

買取所迄之儀有る

是を説高人買取之儀成事滞有るに
裁り有る向ふ事裁り有る御裁り有る
御裁り有る此面を以て御裁り有る

確證之有るに御裁り有る御裁り有る

益々御裁り有る御裁り有る御裁り有る

ナラス自然御裁り有る御裁り有る御裁り有る

今賣取之御裁り有る御裁り有る御裁り有る

御裁り有る御裁り有る御裁り有る御裁り有る

貸金銀同控一切御裁り有る御裁り有る御裁り有る

御裁り有る御裁り有る御裁り有る御裁り有る

辛未三月月

大島直

御裁り有る御裁り有る御裁り有る御裁り有る

之生也乎云云凡ノ中趣意与彼存否ハ多ク從業
尚安ク買取好高駘しク初ノ巧言福
非種々ノ弟族ト以テ括收有ク亦尤多ク有ク
其存否亦先ニ基固ク買掛ク品録之記載
之快面借之々々下之々々ノ一切取捨裁
許之取之々々一時々々併立即中取之好高
之法之依テ益好計ト由シ之買取之
之り之由テ表微説方難通因表微取之必
然之有クノ中實ニ難行扱思之由依之確
證存否ハ採用ノ成リ之規則 佳劣ハ其之有ク

其ノ存否亦先ニ基固ク買掛ク品録之記載
之快面借之々々下之々々ノ一切取捨裁
許之取之々々一時々々併立即中取之好高
之法之依テ益好計ト由シ之買取之
之り之由テ表微説方難通因表微取之必
然之有クノ中實ニ難行扱思之由依之確
證存否ハ採用ノ成リ之規則 佳劣ハ其之有ク
其ノ存否亦先ニ基固ク買掛ク品録之記載
之快面借之々々下之々々ノ一切取捨裁
許之取之々々一時々々併立即中取之好高
之法之依テ益好計ト由シ之買取之
之り之由テ表微説方難通因表微取之必
然之有クノ中實ニ難行扱思之由依之確
證存否ハ採用ノ成リ之規則 佳劣ハ其之有ク

辛未七月

大坂府

司法印中

指合 辛未七月十日

買取之品十金之貸借之於人素不判
可而自到先之亦亦先通可也

領取再回

一金報所給之內額金或金存貯之
取之返金如換我名之人及及示結兼所
出取為貸以金之款金之之款金之有
款哉有款金振如為名之人
治哉此名之同於此

未十二月廿

甲附九未十月十八日抄在

證書之額金之利息是之定有之款又之利息回
按外之主之礼金等法而款確證了之八倍金回款
所置之此之障通ノ有之
概金之存之封金之干預之家之在之控返
希不此之ハ其費用受之者款產律之以下之款回
可也

福是家之信金銀生力存或代限

付子回

一商家之忘家知同牌之儀如後之底

別高貴之致し在貴賤之借金銀及出入の代
限し仕為るるに似たり物大々り物々可なり哉
一家族之者專ら至り子孫を遺用する所私
借財に似し及夫れ為るるに似たり物大々り
揚りし事

一家族者至り向業ハ以て名高き者有る事
ハ得り余病室に在るに借金銀及出入
為る事居りしに在るに似たり物大々り
幸申九月十日

吾所札草

才一條俾り家督讓渡し借財の父名前
置し物系を似し所居品物も似濟す可なり
才二條何し用可なり是ありしに如し商人家
督者し其類別居るに似し代出未だ也
可なり何し可なり
才三條父名前し借財の父名前し
才四條父名前し借財の父名前し
才五條父名前し借財の父名前し

廣嶋新田

一家の糸田畑院文を以て重なる等の借入を
借入とあるは早稲を名に借入を以て金子を
借入の徳とあるは一騎もふは借入の目から
ふは時を素に重なる利の上を以て好借似
節一のしは重なるを素難叶程くふは入る
と家財と強み重なるは借入の重なるは
あはしと重なるを借入とあるは借入の
我金と借入とあるは借入とあるは借入
借入とあるは借入とあるは借入とあるは

但世借入 生寄りの借入とあるは

世々女の子の借入とあるは

一右に對 金子とある借入とあるは借入とあるは
其若くは借入とあるは借入とあるは借入とあるは
其若くは借入とあるは借入とあるは借入とあるは
却て其若くは借入とあるは借入とあるは借入とあるは
其若くは借入とあるは借入とあるは借入とあるは
其若くは借入とあるは借入とあるは借入とあるは

但世の對

其若くは借入とあるは借入とあるは借入とあるは
其若くは借入とあるは借入とあるは借入とあるは
其若くは借入とあるは借入とあるは借入とあるは
其若くは借入とあるは借入とあるは借入とあるは
其若くは借入とあるは借入とあるは借入とあるは
其若くは借入とあるは借入とあるは借入とあるは

清方可あはれむ暇味し所業ありて如く
才一多し過りて其を以て其の如く

中

一代率し糸の平民に復籍せしむるは抑て布
先存するを以て其の如くしるは平民を以て
其の如くしるは平民を以て其の如くしるは
其の如くしるは平民を以て其の如くしるは
其の如くしるは平民を以て其の如くしるは

申一二月 東京裁判所

証人
新撰

僧侶の如く

律に者官の僧の官吏に同じし者其の僧の如く
レトノ條之し有然る者其の如くしるは
其の如くしるは平民を以て其の如くしるは
其の如くしるは平民を以て其の如くしるは
其の如くしるは平民を以て其の如くしるは

生申の如くしるは平民を以て其の如くしるは

可説

○何之通

勅吏官乃華族、執事家全扶、是
等其主人、為二子、為二子、為二子、
位、小寺、藉、東、氏、上、能、毛、士、族、
可、此、少、其、儀、候、得、心、之、果、心、士、族、
法、之、誰、し、和、家、心、寺、藉、子、以、一、
可、寺、心、理、上、寺、存、心、及、心、也、

何之通

可院

可寺

平民位、後、者、家、族、取、扱、及、身、的

華族、分、平民、之、取、扱、の、婚、姻、
者、有、之、又、二、族、等、族、の、
時、これ、二、意、事、其、藉、
其、家、族、取、扱、妻、の、夫、
可、中、道、理、止、テ、父、母、
と、心、不、取、の、也、
と、あ、る、一、也

生事

可法

可院

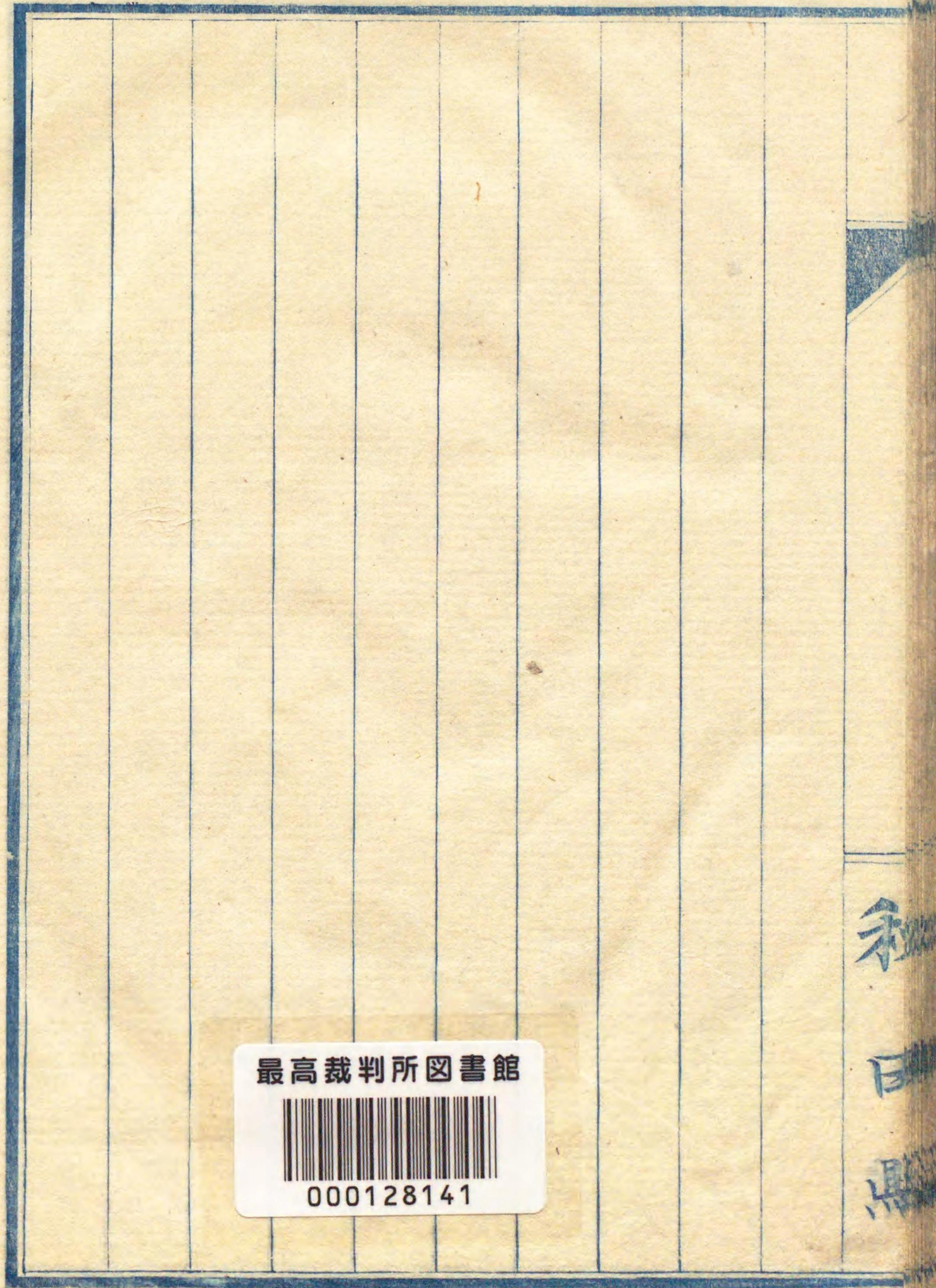
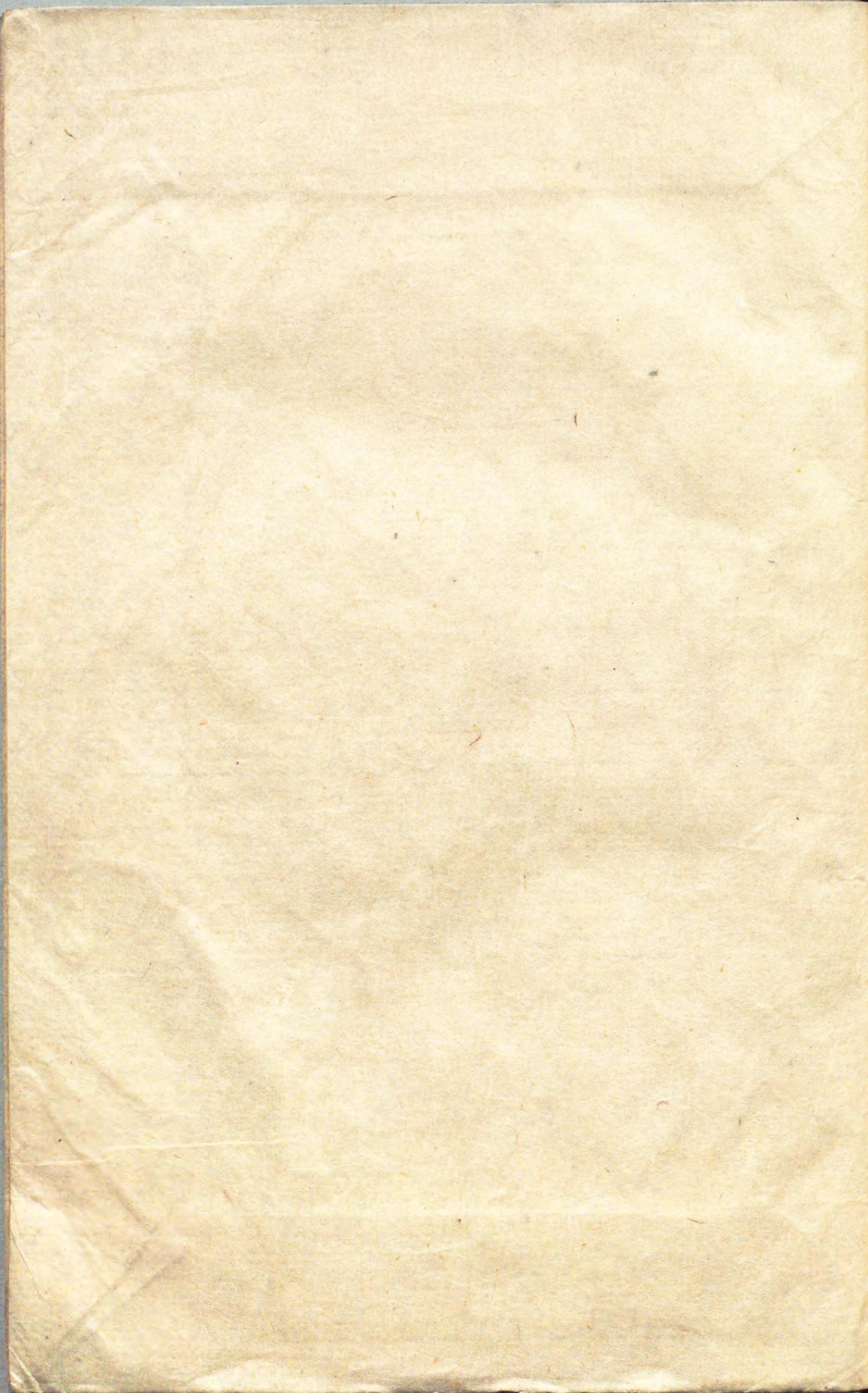
WH 7. 2
C 55 B
73(1)

幸く女史中ハ子孫ありて其後以て可なり

[Faint, mostly illegible handwritten text in vertical columns]

和
日
集

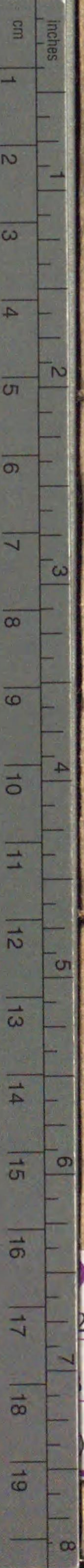
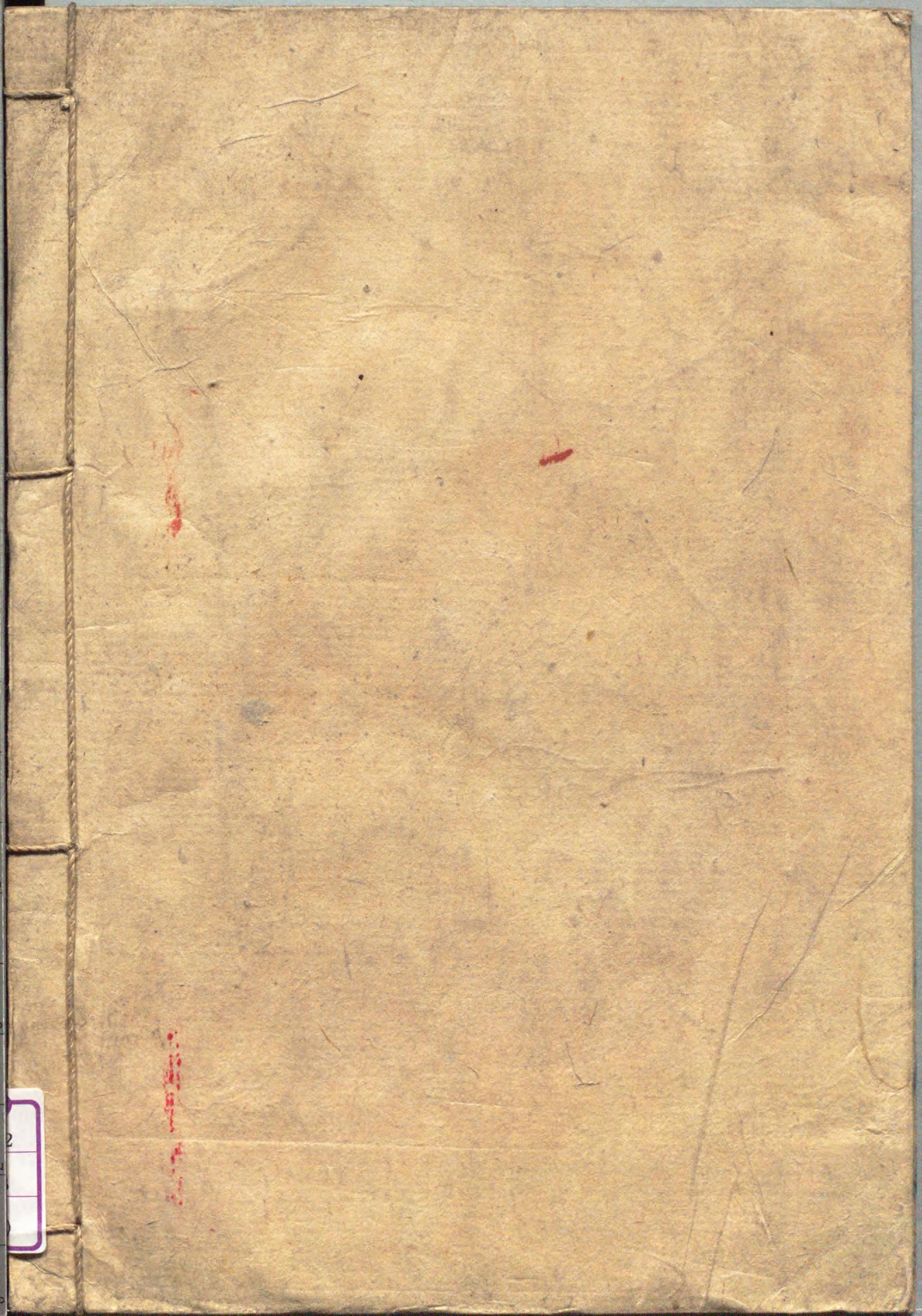
火
日
系



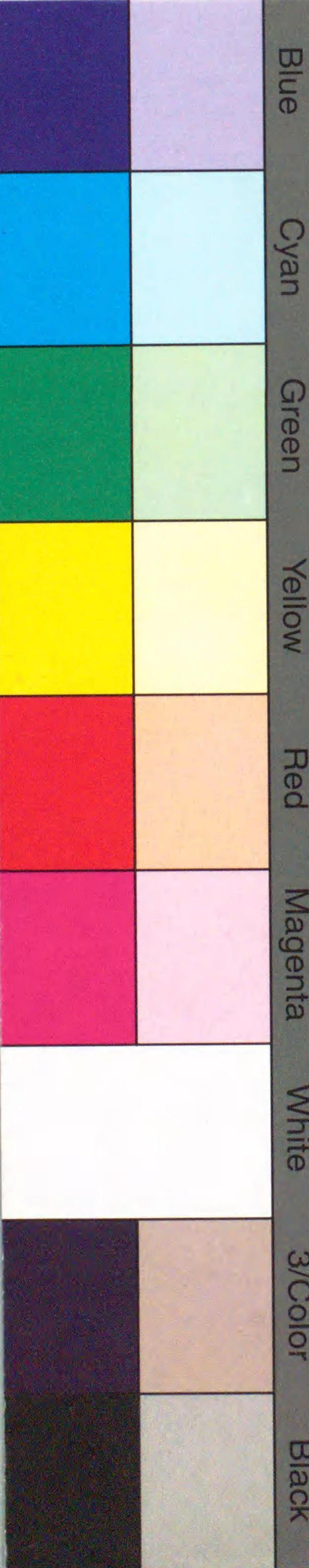
最高裁判所図書館

000128141

和
日
集



Kodak Color Control Patches



Kodak Gray Scale

A 1 2 3 4 5 6 **M** 8 9 10 11 12 13 14 15 **B** 17 18 19



© Kodak, 2007 TM: Kodak